

2025年度企画展

妖精の庭

花に宿る物語

主催：宇都宮市

Utsunomiya
Miyary since 2006

Fairy Garden

A story that dwells in flowers

入場
無料

2025

7/21^① ▶ 8/31^①

9:00～19:00 休館日：8/4^①

施設のメンテナンスのため、臨時で休館する場合があります。

うつのみや妖精ミュージアム

Utsunomiya Fairy Museum

〒320-0026 栃木県宇都宮市馬場通り4-1-1

うつのみや表参道スクエア内 市民プラザ5階

TEL 028-616-1573



左上：アメリカ・ジェーン・マレー絵「花の中に休らう妖精」(1817-29年)

右上：ジェイムズ・バリ著、アーサー・ラッカム絵「ケンジントン公園のピーターパン」挿絵(1910年)

左下：エディス・M・コーカー著、P・アンダーソン絵「花々の秘密」挿絵(1919年)

2025年度企画展

妖精の庭

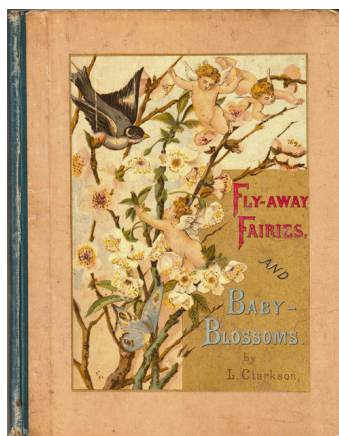
花に宿る物語

Fairy Garden
A story that dwells in flowers



英国の妖精文化において、自然や花をめぐるテーマは欠かすことのできない重要な要素です。人々の暮らしに深く根ざした樹木や花は、時代や文化を超えて大切にされてきました。とりわけケルト文化では、樹木にはそれぞれ固有の力が宿ると信じられ、森は妖精などの精霊が住まう神聖な場所とされていました。こうした妖精伝承は、自然への畏敬の念や目に見えない存在との共存意識を反映しており、今日の幻想文学や芸術作品にもその精神が色濃く受け継がれています。

本企画展では、当館に所蔵している妖精に関する美術品の中から、「花と妖精」に関する19世紀～20世紀前期のイギリスの絵画や書籍を中心に、国内の妖精ドール作家である若月まり子先生、また宇都宮市のゆるキャラの「ミヤリー」まで、古代から現代までの妖精の移ろいについて展示を用いて紹介いたします。



企画展連動イベント 妖精たちのバッジアトリエ

展示テーマにちなんだ絵柄から
お気に入りの缶バッジを選ぼう
スタッフが缶バッジを加工し、
その場でプレゼント!企画展の思い出に。

日時：7/27(土)・8/17(日)の2日間
時間：10時～16時 / 所要時間：5分程度
対象：どなたでも / 参加費：無料
場所：企画展会場

左下：ジョン・シモンズ絵「花の上に憩うティターニア」(1872年)、中央上：L・クラークソン著、絵『逃げゆく妖精と小さな花々』表紙(1882年)
中央下：ジョセフ・ジェイコブ著、ジョン・D・バットン絵『ケルトのおとぎ話』挿絵(1892年)、右上：若月まり子「夜露の精 ティーグリーズ」(2007年)

交通案内

電車でお越しの方

JR「宇都宮駅」西口から徒歩20分 バス10分
東武鉄道「東武宇都宮駅」から徒歩15分

バスをご利用の方

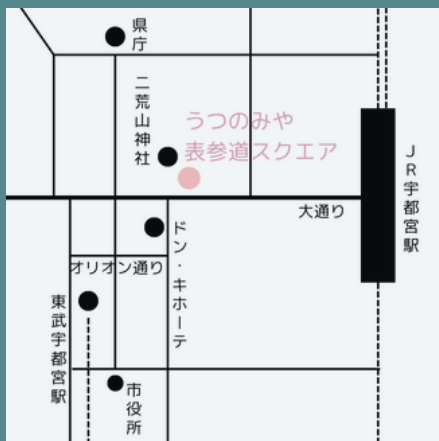
関東自動車「馬場町」もしくは「二荒山神社前」徒歩2分
市内循環線(きぶな)「宇都宮二荒山神社下」徒歩2分

自動車をご利用の方

東北自動車道「宇都宮インターチェンジ」から約9km
「鹿沼インターチェンジ」から約8km

駐車場のご案内

うつのみや表参道スクエア敷設立体駐車場あり。
最初の30分は無料 以降200円/30分
立体駐車場6階から連絡通路を經過いただけます。



うつのみや妖精ミュージアム Utsunomiya Fairy Museum

〒320-0026 栃木県宇都宮市馬場通り4-1-1
うつのみや表参道スクエア内 市民プラザ5階
TEL：028-616-1573
MAIL：ufairymuse@gmail.com



◀ 最新情報はここから!